第 22 回　建設業経理士 2 級　解答速報

（解答用紙がないので、過去問より想定）
（予想配点は過去問題集の予想配点を参考にしました）

[第 1 問]

(1)建設仮勘定 2,000,000／当座預金 2,000,000
　建設仮勘定 500,000／材料 500,000

自社の建物なので、借方に未成工事支出金は使わない事

(2)未成工事支出金 3,200,000／受取手形 1,500,000
　　支払手形 1,700,000

(3)工事未払金 3,500,000／当座預金 1,200,000
　　当座借越 2,300,000

(4)関係会社株式 5,500,000／当座預金 4,000,000
　　投資有価証券 1,500,000

(5)工事未払金 2,458,000／仕入割引 2,500
　　当座預金 2,455,500

(1)は間違っても良い
16 点は取れるはず

[第 2 問]

(1)3,000　(2)21,750,000　(3)269,200　(4)246,156
　(2)は成果の確実性の事後的な取得として処理（建設業の会計実務より）
　(3)当期＋当期－前期＝当期発生
　　X＋120,800－65,000＝325,000　∴X＝269,200

9~12 点（満点）はいける

[第 3 問]
問 1
(A)@250×400＋@260×100＝126,000
(B)@260×100＋@250×200＝76,000
(C)@250×150＝37,500
(D)@250×250＋@240×150＝98,500

問 1　8 点
問 2　6 点か？
問 1 の 8 点は欲しい

問 2（本試験では後回しが無難）TAC 出版過去問題集（第 3 問対策と同様の問題）

164,150

私は、「元帳の残高は帳簿としての信頼性を考えると払出金額を引いた額のはず」と考えて計算しましたが、正直悩みました。時間も考えるとそもそも捨て問で良いと思います

[第 4 問]
問 1

（1）(2)　(4)で 3 点欲しい

(1)原価は、（経済価値）の消費である
(2)原価は、経営において作り出された（一定の給付）に転嫁される価値である
(3)原価は、（経営目的）に関連したものである
(4)原価は、（正常的）なものである

(一)　原価は、経済価値の消費である。経営の活動は、一定の財貨を生産し販売することを目的とし、一定の財貨を作り出すために必要な財貨すなわち経済価値を消費する過程である。原価とは、かかる経営過程における価値の消費を意味する。
(二)　原価は、経営において作り出された一定の給付に転嫁される価値であり、その給付に係わらせて把握されたものである。ここに給付とは、経営が作り出す財貨をいい、それは経営の最終給付のみでなく、中間的給付をも意味する。
(三)　原価は、経営目的に関連したものである。経営の目的は、一定の財貨を生産し販売することにあり、経営過程は、このための価値の消費と生成の過程である。原価は、かかる財貨の生産、販売に関して消費された経済価値であり、経営目的に関連しない価値の消費を含まない。財務活動は、財貨の生成および消費の過程たる経営過程以外の、資本の調達、返還、利益処分等の活動であり、したがってこれに関する費用たるいわゆる財務費用は、原則として原価を構成しない。
(四)　原価は、正常的なものである。原価は、正常な状態のもとにおける経営活動を前提として把握された価値の消費であり、異常な状態を原因とする価値の減少を含まない。

問 2（基準操業度が悩ましい・少し日商のような試験になってきた感じ）
※各社の 2 級のテキストに基準操業度の概念はのっていない

間接費に関して
483,000÷920（実現可能＝フル稼働）＝@525
※当会計期間の予定は実現可能最大ではなく当期の生産予定数から計算される数値

当月の予定配賦額→@525×72＝37,800 円
当月の実際発生額→34,500
有利差異＝3,300

配賦差異の当月末残高→（借方 2,400）＋（貸方 3,300）＝**貸方(B)900**

完成工事原価報告書

材料費	1,564,000
労務費	1,287,000
外注費	2,333,000
経　費	263,100
完成工事原価	5,447,100

本試験で迷ったら、間接費が影響する部分は最悪落としても良いと考えるべし！

材料費・労務費・外注費を確実にとろう。それでも通常は 12~14 点はあるはず

第 5 問（解答用紙ないので前 T/B や使用科目確認できません。仕訳だけ掲載します）

(1)事務用品費 2,000／現金 2,000
　雑損 1,000／現金 1,000

仮払精算を前提とすると(1)の雑損はなくなるが、問題文の内容からは雑損ありでしょう。
前ＴＢに雑損あれば間違いない

(2)旅費交通費 9,500／仮払金 8,500
　　現金 1,000

(3)仮払法人税 36,500／仮払金 36,500

22 点を狙おう

(4)貸倒引当金は前 T/B ないので計算できません

(5)スクラップ
「現場で発生したスクラップ」
　★固定資産から発生したスクラップで下記の処理していれば
　　固定資産 100,000／現金 100,000
　　貯蔵品 15,000　／固定資産 100,000
　　固定資産除却損 85,000

　　仮受金 15,000／貯蔵品 15,000　となる
　　※ただし、貯蔵品処理時の評価額が不明なので前 TB 次第

　★材料のスクラップなら
　未成工事支出金 100,000／材料 100,000
　このうちスクラップ分が 15,000 円で売れた
　仮受金 15,000／未成工事支出金 15,000

「現場で発生した」と書いていなかったら
　★仮受金 15,000／雑収入 15,000

　過去問みると解答用紙に自分で書く欄がないので、今回も同じで雑収入がなければ雑収入ではないでしょう

(5)減価償却費
　予定 82,800 円　実際 84,000 円
　不足分の処理
　未成工事支出金 1,200／機械減価償却累計額

　販売管理費 19,000／備品減価償却累計額 19,000

(6)未成工事支出金 24,000／工事未払金 24,000

(7)退職給付引当金
　施工部門→予定 30,000　実際 31,000

不足分の処理
未成工事支出金 1,000／退職給付引当金 1,000

管理部門
販売管理費 17,000／退職給付引当金 17,000

⑻未成工事支出金／完成工事保証引当金

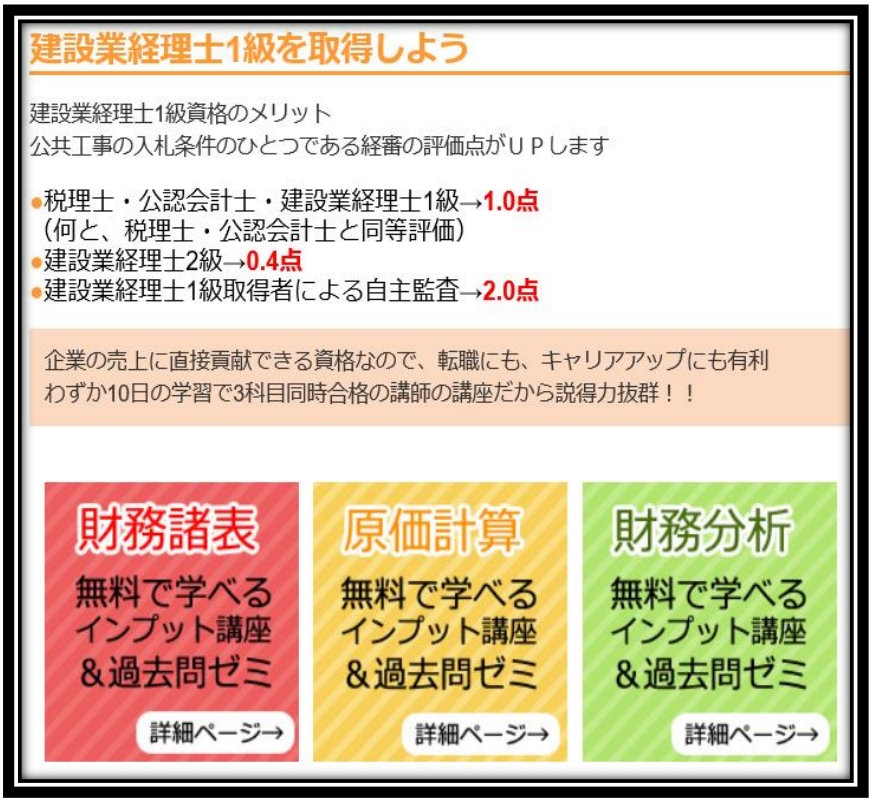
⑼完成工事原価／未成工事支出金

今回の得点目標

	配点	最低	うまくいけば	講評
第 1 問	20	16	20	普通
第 2 問	12	9	12	普通
第 3 問	14	8	14	時間かかる 移動平均は難だったかもしれない 移動平均は後回しにすべし
第 4 問	24	15	24	基準操業度は難 間接費の配賦は取れなくても仕方ない つもり
第 5 問	30	22	26	3 問・4 問で取れていない前提で行くと ここは確実に取れるところを取る ★ ｽｸﾗｯﾌﾟで未成工事支出金
合計	100	70	96	

平成 29 年 9 月 10 日
弥生カレッジＣＭＣ

この解説は**解答用紙がないので、過去問より想定した部分があります。**
（予想配点は過去問題集の予想配点を参考にしました）
後で変更する可能性はありますが、ご了承ください。



無料講座で学んだあとは

弥生カレッジＣＭＣの建設業経理士１級　過去問ゼミ

弥生カレッジ　建設業　で検索

合格体験記続々到着
インプットは無料！
2級
1級財務諸表
原価計算
財務分析
2級
過去問ゼミ
￥4,800
建設業経理士
2級＆1級DVD講座好評発売中